

市庁舎整備基本構想の策定について

京都市では、市民の安心・安全を守り、現市庁舎が抱える様々な課題を解消する基本的な方向性をまとめた「市庁舎整備基本構想（案）」を2月12日に公表し、同構想（案）に対するパブリック・コメント（市民意見募集）を実施しました。

この度、市民の皆様からいただいた御意見を踏まえて、「市庁舎整備基本構想」を策定しましたので、お知らせします。

今後、本構想を基に、具体的な整備規模、整備スケジュール、整備手法等を盛り込んだ「市庁舎整備基本計画」の策定に向け、検討を行っていきます。

1 市庁舎整備基本構想の策定について

<資料>

- 市庁舎整備基本構想 [概要版](#) [別紙1](#)
- 市庁舎整備基本構想 [本文](#) [別紙2](#)

<p><意見を踏まえ、構想（案）に加筆したもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文 第3 2 整備方針（12ページ） （概要版 4 (2) 整備方針（3ページ）） 「(4)すべての人にやさしく、環境に配慮した市庁舎」の項目に、「先進の環境・エネルギー技術（創エネ、省エネ、蓄エネ）を導入するなど、全国のモデルとなる取組を進めます。」の文言を加えました。 ○ 本文 第4 2 市庁舎に求められる性能（15ページ） 「(4)環境負荷の低減」の項目に、「京都の豊かな水資源の利用」の文言を加えました。 ○ 本文 第4 2 市庁舎に求められる性能（17ページ） （概要版 5 市庁舎の機能と性能（3ページ）） 「(8)ライフサイクルコストの最適化」の項目に、「また、将来を見据え、建物のエネルギーに関するランニングコストも検証し、費用対効果を算出して検討します。」の文言を加えました。 ○ 本文 第6 2 他の庁舎の整備（26ページ） （概要版 6 (2) 市庁舎の建物構成（4ページ）） 「あわせて、分庁舎から地下鉄駅などへの動線や、押小路通など周辺道路の歩行空間も検討します。」の項目を加えました。

2 市庁舎整備基本構想（案）に対する市民意見募集の結果について

(1) 市民意見募集の概要

ア 募集期間 平成25年2月15日（金）～3月14日（木）

イ 募集方法

概要版の配布（市役所，区役所・支所，図書館等），インターネット，市民しんぶん，各種イベントでの周知（意見募集箱の設置など）

ウ 応募方法 郵送，FAX，持参，電子メール又は意見募集箱への提出

(2) 募集結果

応募者数 146名（意見数 235件）

（年齢別）

年齢	応募者数（名）	
20歳代未満	2	2%
20歳代	31	21%
30歳代	28	19%
40歳代	28	19%
50歳代	25	17%
60歳代	13	9%
70歳代以上	7	5%
不明	12	8%
合計	146	100%

（性別）

性別	応募者数（名）	
男性	86	59%
女性	50	34%
不明	10	7%
合計	146	100%

（居住地別）

居住地	応募者数（名）	
京都市	108	74%
京都市域外	28	19%
不明	10	7%
合計	146	100%

(3) 御意見の内訳

意見区分	意見数（件）	
1 市庁舎整備基本構想（案）全般	13	6%
2 市庁舎整備の基本理念と整備方針	8	3%
3 市庁舎の機能と性能	65	28%
4 市庁舎の規模と建物構成	48	20%
5 市庁舎の整備方法	70	30%
6 議会スペースの整備方法	2	1%
7 概算事業費と整備スケジュール	17	7%
8 事業手法の検討	2	1%
9 その他	10	4%
合計	235	100%

(4) 主な御意見（要旨）と御意見に対する本市の考え方

別紙3のとおり